

編集後記

▼『成寿』23巻秋季号をお送りいたします。今夏は記録的な高温・少雨で、マスクミは酷暑、猛暑と連日の暑さの形容詞えらびに苦勞するほど、炎熱地獄は斯くやと思われましたが、皆様にはいかがお過ごしでしたでしょうか。

▼善光寺は開創二十五周年を迎え、五月三十日に大本山總持寺様で、梅田信隆禪師さまご親修の法要と記念式典を挙行致しました。謹んでご報告しますとともに、これも偏に皆様様のお陰と篤く感謝申し上げます。▼設立十周年を迎えた横浜善光寺留学僧育英会は三月三十日、韓国・曹溪宗通度寺の老天月下方丈をはじめ多数の来賓が参列して、記念式典を行いました。皆様から過分な賛辞を

賜り、お言葉の一言一句をこの十年の重みとして受け止め、改めて今後の励みとさせていたいただきたいと存じます。

▼十年間に十六カ国・五十六人の留学生が日本および世界各地で勉学・研鑽を積んでおります。ご支援に心から感謝申し上げます。

▼記念事業として関係十カ国訪問記『法燈の国際化をめざして』（法燈は海を越えて）を出版いたしました。各界から反響も大きく、多くの方々に喜ばれております。また来春には『留学僧論文集』第二集を発刊の予定。ご期待下さい。

▼本号は「開創二十五周年」と「留学僧育英会設立十周年」の二特集となりました。それぞれ式典の盛儀をカラーページと本文でご紹介いたしますが、善光寺にとりましては記念

すべき平成六年であります。その上、佛師錦戸新観師造頭の聖徳太子坐像を勧請することができ、喜びも一入でございます。

▼善光寺ニュースでお伝えしたとおり、十月中旬、韓国・通度寺を訪問の子定です。国際講演会も予定されており、善光寺から日韓佛教交流の輪が広がって、つながりが密になっていくことを願っています。

▼間もなく秋彼岸です。ご先祖様を尊び、一日一日を大切に過ごしてまいりますよう。

成寿 第二十三号

平成六年九月一日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野中央一丁目十二番九号

電話 〇四五(八四五)一三七一

印刷所 神奈川新聞社出版局





横濱善光寺